



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月4日

上場会社名 セーレン株式会社 上場取引所 東
コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>
代表者(役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男
問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 業務統括本部長 (氏名) 勝木 知文 TEL 0776-35-2111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	40,625	5.0	5,399	31.1	5,705	23.6	4,088	16.6
2025年3月期第1四半期	38,686	19.0	4,117	41.5	4,616	16.2	3,505	12.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 138百万円(△98.0%) 2025年3月期第1四半期 6,792百万円(34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	69.71	69.23
2025年3月期第1四半期	63.51	56.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	191,817	141,729	73.4	2,401.55
2025年3月期	199,223	143,882	71.7	2,437.38

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 140,843百万円 2025年3月期 142,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	38.00	68.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	38.00	—	38.00	76.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	0.2	19,200	7.5	19,800	2.7	14,300	3.0	243.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	64,633,646株	2025年3月期	64,633,646株
2026年3月期1Q	5,986,577株	2025年3月期	6,002,941株
2026年3月期1Q	58,642,880株	2025年3月期1Q	55,206,585株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、雇用・所得環境の改善や企業の堅調な設備投資等により、緩やかな回復基調となりました。一方で、エネルギー及び原材料価格の高騰や米国の経済政策の動向、地政学リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第1四半期の連結業績は、売上高406億25百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益53億99百万円（同31.1%増）、経常利益57億5百万円（同23.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益40億88百万円（同16.6%増）となり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期として過去最高となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しています。以下は前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

〔セグメント別の業績概況〕

（車輛資材事業）

国内事業について、エアバッグは商品構成の変更等があり売上が減少したものの、カーシート材は国内自動車メーカーの生産停止の影響を受けた前年の反動で受注が増加し、増収・増益となりました。

海外事業（2025年1～3月）について、北米では国内メーカーの販売が落ち込んだことにより売上が減少したものの、アジアではファブリック及び合皮によるカーシート材の売上が増加しました。また、各拠点における品質改善や経費削減活動が功を奏し、増収・増益となりました。

その結果、車輛資材事業全体では、増収・増益となりました。

当事業の売上高は276億50百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益41億67百万円（同23.5%増）となりました。

（ハイファッション事業）

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。

スポーツやアウトドア向けアウター素材やインナー素材が好調に推移しました。KBセーレン㈱においては、海外向け特殊衣料用原系の売上が好調となりました。

その結果、ハイファッション事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は54億23百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益4億37百万円（同57.5%増）となりました。

（エレクトロニクス事業）

ゲーム機やモバイル端末向け商材が順調に推移したほか、ロケット打ち上げ計画変更に伴い納品延期となっていた人工衛星の売上を計上したことなどにより、単体では増収・増益となりました。

その他、KBセーレン㈱においては、海外半導体メーカー向け防塵衣用導電糸「ベルトロン」が好調となりました。また、セーレンKST㈱においては海外向けシリコンウェーハの酸化膜加工やベアウェーハの販売が順調に推移しました。

その結果、エレクトロニクス事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は32億1百万円（同24.8%増）、営業利益は6億29百万円（同84.3%増）となりました。

（環境・生活資材事業）

病院・介護施設向けベッド商材については、厚生労働省の病床数適正化支援事業などの影響により、売上が減少しました。また、ハウジング関連資材は住宅着工戸数減少の影響を受け、住宅向けが苦戦しましたが、商業施設など非住宅向けにおいて新規顧客開拓が進みました。KBセーレン㈱においては、民生資材の売上が回復しました。

その結果、環境・生活資材事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は24億18百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2億24百万円（同23.4%増）となりました。

（メディカル事業）

サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移するとともに、一部衛生ケミカル製品の売上が伸びました。KBセーレン(株)においては、逆浸透膜スプレー向け「ベルカップル」と絆創膏用途の「エспанシオーネ」が、客先の在庫調整の一巡により売上回復となりました。

その結果、メディカル事業全体としては増収・増益となりました。

当事業の売上高は17億31百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2億35百万円（同35.1%増）となりました。

（その他の事業）

（株）ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業やセーレン商事(株)の保険代理業は堅調に推移しました。

当事業の売上高は1億99百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は1億45百万円（同0.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して74億6百万円減少の1,918億17百万円となりました。流動資産は、現金及び預金や有価証券の減少などにより、前連結会計年度末と比較して97億42百万円の減少となりました。固定資産は、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して23億35百万円増加しました。負債の部は、支払手形及び買掛金の減少や借入金の返済などにより、52億53百万円減少し、500億87百万円となりました。純資産は、利益剰余金が増加した一方、為替換算調整勘定の変動があったことなどにより、全体で21億53百万円減少し、1,417億29百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は381億46百万円となり、前連結会計年度末より21億70百万円減少しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、23億24百万円の収入（前年第1四半期連結累計期間は15億38百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益57億10百万円、減価償却費14億59百万円などによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、4億89百万円の収入（前年第1四半期連結累計期間は55億23百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が12億20百万円あった一方、定期預金の純減による収入が19億15百万円あったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、35億88百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は36億31百万円の支出）となりました。これは主に、借入金の純減による支出12億66百万円、配当金の支払による支出22億27百万円などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国経済政策の動向や地政学リスク等、先行き不透明な要素があるものの、当第1四半期の業績が過去最高であり、今後、車輛資材事業やエレクトロニクス事業を中心に業績が計画通り推移すると判断したことから、2025年5月15日に公表した通期の業績予想を上方修正いたします。

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 160,000	百万円 18,100	百万円 18,700	百万円 13,400	円 銭 228.55
今回修正予想（B）	160,000	19,200	19,800	14,300	243.38
増減額（B－A）	0	1,100	1,100	900	
増減率（%）	0.0	6.1	5.9	6.7	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	159,653	17,865	19,277	13,887	242.29

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,028	40,442
受取手形、売掛金及び契約資産	42,222	42,383
有価証券	8,891	4,087
商品及び製品	16,089	15,182
仕掛品	4,489	4,803
原材料及び貯蔵品	8,808	7,162
その他	3,546	3,270
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	127,064	117,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,813	25,048
機械装置及び運搬具（純額）	14,632	13,959
工具、器具及び備品（純額）	888	1,030
土地	13,144	13,042
建設仮勘定	1,748	1,977
有形固定資産合計	56,228	55,057
無形固定資産		
のれん	318	278
その他	3,097	2,905
無形固定資産合計	3,415	3,184
投資その他の資産		
その他	12,624	16,357
貸倒引当金	△108	△103
投資その他の資産合計	12,515	16,253
固定資産合計	72,159	74,495
資産合計	199,223	191,817
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,492	20,818
1年内償還予定の新株予約権付社債	90	60
短期借入金	4,816	1,106
未払法人税等	2,719	1,869
賞与引当金	1,787	778
その他	7,607	8,416
流動負債合計	40,513	33,049
固定負債		
長期借入金	5,516	7,961
役員退職慰労引当金	119	119
株式報酬引当金	170	179
退職給付に係る負債	6,319	6,200
その他	2,702	2,576
固定負債合計	14,827	17,037
負債合計	55,340	50,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	19,976	19,977
利益剰余金	95,792	97,652
自己株式	△10,677	△10,648
株主資本合計	122,611	124,501
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	3,985	4,186
為替換算調整勘定	16,103	11,905
退職給付に係る調整累計額	205	250
その他の包括利益累計額合計	20,293	16,342
新株予約権	465	465
非支配株主持分	511	420
純資産合計	143,882	141,729
負債純資産合計	199,223	191,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	38,686	40,625
売上原価	28,285	28,827
売上総利益	10,400	11,798
販売費及び一般管理費	6,283	6,399
営業利益	4,117	5,399
営業外収益		
受取利息	232	275
受取配当金	116	149
為替差益	248	—
補助金収入	93	71
その他	58	39
営業外収益合計	749	535
営業外費用		
支払利息	69	44
有価証券評価損	178	130
為替差損	—	51
その他	3	2
営業外費用合計	250	229
経常利益	4,616	5,705
特別利益		
固定資産売却益	11	5
特別利益合計	11	5
特別損失		
固定資産処分損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	4,626	5,710
法人税等	1,100	1,603
四半期純利益	3,525	4,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,505	4,088

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	3,525	4,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	200
為替換算調整勘定	3,460	△4,214
退職給付に係る調整額	△15	45
その他の包括利益合計	3,267	△3,968
四半期包括利益	6,792	138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,767	136
非支配株主に係る四半期包括利益	25	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,626	5,710
減価償却費	1,408	1,459
固定資産処分損益 (△は益)	△10	△4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△995	△1,008
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△71	△53
受取利息及び受取配当金	△348	△424
支払利息	69	44
為替差損益 (△は益)	△704	182
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,508	△1,875
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△177	1,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	299	△1,759
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5	△112
その他	1,316	738
小計	2,909	4,337
利息及び配当金の受取額	304	480
利息の支払額	△74	△34
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,601	△2,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,538	2,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,002	△1,220
有形固定資産の売却による収入	82	21
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,918	△209
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	500	2
定期預金の純増減額 (△は増加)	△1,183	1,915
その他	△2	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,523	489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△1,256	△4,266
自己株式の取得による支出	△707	—
配当金の支払額	△1,659	△2,227
非支配株主への配当金の支払額	△7	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,631	△3,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,282	△1,396
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,333	△2,170
現金及び現金同等物の期首残高	37,545	40,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,211	38,146

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	26,783	5,085	2,565	2,369	1,696	38,500	53	38,554	—	38,554
その他の収益	—	—	—	—	—	—	132	132	—	132
外部顧客への 売上高	26,783	5,085	2,565	2,369	1,696	38,500	185	38,686	—	38,686
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	20	42	33	5	102	148	251	△251	—
計	26,783	5,105	2,608	2,403	1,702	38,603	334	38,938	△251	38,686
セグメント利益	3,373	277	341	182	174	4,349	146	4,495	△378	4,117

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント(注) 1						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	27,650	5,423	3,201	2,418	1,731	40,425	68	40,494	—	40,494
その他の収益	—	—	—	—	—	—	130	130	—	130
外部顧客への 売上高	27,650	5,423	3,201	2,418	1,731	40,425	199	40,625	—	40,625
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	19	72	72	7	172	168	340	△340	—
計	27,650	5,443	3,274	2,490	1,738	40,597	368	40,966	△340	40,625
セグメント利益	4,167	437	629	224	235	5,694	145	5,839	△440	5,399

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車両資材……………自動車・鉄道車両等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システム及び
サプライ、電子機器、シリコンウエーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第1四半期連結累計期間380百万円、当第1四半期連結累計期間430百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、組織体制の変更ならびに一部製品の対象セグメント見直しに伴い、報告セグメントの区分を変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。